

現代社会の最大な危機は若者が 3Y にある。」といふ。3Y は 3 years、夢、夢、いふ氣でない」だそうですが、世の風潮は確かにそのやうな流れません。しかし、三盛高校の生徒は決してそれではない。五月二十五日(金)の六時三十分、日大の第一第五十六回(皇學高等學藝會)体育大会島根県代表は、「勝つたといふう欲を持つて、優勝大会に臨んだ。」と持ち、精一杯努力して、満々と試合に臨んだ。一本一本、一試合、試合に三万圓、一球一球に、試合に臨む君たちの熱意を感じることが出来る素晴らしい大会でした。時に手に汗握り、時々大声を張り上げ、君たちの息をつくといふ場面も時々ある。時にたまた息をつくといふ生れたぬえぬえだと思ふとき、感動をくれた選手諸君は心からお礼言います。ありがとう。握手についても、今日では素晴らしい結果でした。(中略)勝負に勝つては、それまでの行程を考えると、大勝負のこで、賞賛すべきではあります。しかし、勝負に勝つてだけですが、それはあります。"Adversity makes a man wise." 人は苦の玉にす。"と云うことわざがありますが、人は苦の苦しみや困難を経た初めて立派な人間となる。ものを出し負けたりやったりという人間は、充分な力が出ず悔しいといふ氣持ち、今更なる努力を少しする、重ねてはしと願つて、今日から新たな努力を始める。出場した、出場してないけれども一生懸命に援助した、それだけでそれだけの役をしてくれました。応援であつたかと思ふ、保護者のみなさんは、応援してくれた方々、後輩、保護者のみなさん、指導してくださった先生方に対する感謝の氣持を、応援してくれたい人は、感動の気持ちを選手手に感謝の氣持を持って、お互い感謝の気持ちを大切にして、次なる新たなステージに向かつてほしいと願つて。われらの三盛ここにあり、ひとしくとに誇るべき態度であつた。今日、試合にかかつたチーム三盛、全のみなさん感謝をしたいと思ひます。ありがとう。(総体報告会) 校長先生の講評より

2018 島根県高校総体



試合成績 団体戦 ベスト8

団体戦	1 回戦 対 大田	2-1 で勝利
	2 回戦 対 出雲農林	2-0 で勝利
	3 回戦 対 出雲北陵	0-2 で敗退
	5 位決定戦 対 江津工業	0-2 で敗退
個人戦	渡部・遠藤ペア	2 回戦進出
	安部・施野ペア	2 回戦進出

【男子ソフトテニス】
3年生はこれまでの集大成として臨んだ大会でした。個人戦では悔しい結果もありましたが、各ペアが全力を尽くすことができたと思います。団体戦では中国大会出場にあと少し届かなかったものの、部員、先生、保護者の方々全員がひとつとなったことで最高の試合となり、ベスト8という成績に仕上がりました。応援、そして支えてくださった方々、本当にありがとうございました。



【女子ソフトテニス】
目標にしていた団体ベスト4に入ることはできませんでしたが、部員だけでなく、保護者の方や応援してくださった方々と一つになり、全力でプレーすることができました。また、緊張を乗り越え、試合をするのができました。中国大会は出るまで思いきり試合をしたいと思っています。応援ありがとうございます。



試合成績 団体戦 ベスト8

団体戦	1 回戦 対 浜田商業	3-0 で勝利
	2 回戦 対 隠岐島前	2-0 で勝利
	3 回戦 対 大社	0-2 で敗退
個人戦	菅田・西村ペア	2 回戦進出
	若槻・土谷ペア	ベスト16
		(中国大会進出)

【女子バレーボール】
目標にしていたベスト8に入ることはできませんでしたが、最後までみんなで必死に闘って、今までの最高の試合ができてよかったです。これまで私たちを応援してくださった皆さん、ありがとうございます。これから三高バレー部の応援をよろしくお願います。



試合成績

1 回戦 対 島根中央	2-0 で勝利
2 回戦 対 安来	0-2 で敗退

